

船橋市立医療センターNews

2009.10
No.2

●発行年月日/平成21年10月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 高原 善治
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>



救急医療の中核を担う救命救急センター

船橋市立医療センター院長 高原 善治

船橋市における地域医療の中核病院である当医療センターは、平成6年には、救命救急センターを増設し、東葛南部保健医療圏6市の市民の命を守っています。日本では便宜上、救急患者を一次、二次、三次と分類しています。一次は、簡単な怪我、風邪など入院の必要がない軽症例。二次は、入院を要するがすぐに生命には別状はない重症例。そして三次は、すぐに緊急の治療をしないと生命の危険がある最重症例とされています。東葛南部保健医療圏の三次救急を担う当救命救急センターではER方式をとっております。搬送された重症患者さんは、直ちに救命救急センターにて診断、治療が開始されます。そして疾患により各科専門医にバトンタッチし、高度専門治療を引き続き行います。また、24時間体制のドクターカーの本拠となる救急ステーションが同一区画内に建っており、これを市消防局と船橋市医師会、医療センターの医師が一体となって運用しております。

今回は、当医療センターの重要な使命の1つである救急医療を担う救命救急センターについて、皆さんにお知らせしたいと思います。

また、ゴールデンウィーク前から広がりを見せ、世界的に蔓延した新型インフルエンザは、8月に流行期に入り、10月には第1次のピークがおとずれるのではないかと懸念されております。そこで、今回は日頃からできる感染症予防についても紹介しております。季節性のインフルエンザも新型インフルエンザも日頃からできる予防対策は同じですので、参考にいただければと思います。

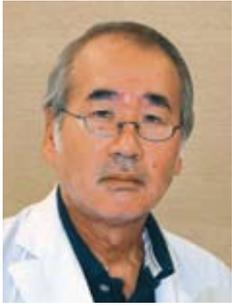
当医療センターは、これからも引き続き、救急医療の維持、充実を図るため、医師や看護師の確保に努めていきます。

ER (Emergency Room) 方式：救急医が診察処置をし、緊急度や重症度を判定した上で、必要となれば各科専門医が引き続き緊急手術や入院治療を行うシステム

目次

| | |
|------------------------|-----|
| 救急医療の中核を担う救命救急センター（院長） | 1 |
| 救急医療は都市のライフライン／救急医療Q&A | 2～3 |
| 今すぐできる感染症予防 | 3 |

| | |
|----------------------------|---|
| MRI装置（1.5T） | 4 |
| 診療科紹介／HPリニューアル／看護部だより | 5 |
| 地域医療連携室だより／医療安全ニュース | 6 |
| よくある質問Q&A／お薬のはなし／お知らせ／編集後記 | 7 |
| 外来担当医師一覧表 | 8 |



救急医療は都市のライフライン

救命救急センター長 金 弘

船橋市では年間27,000件の救急車の出動があります。このうち3,000件強が当医療センターの救命救急センターに運ばれます。救命救急センターの第一の役割は、脳卒中、心疾患、外傷、やけどや中毒、ショックなどの、時間を争う重症な患者さんを受け入れて治療することです。救命救急センターではまず専任の救急医が診断、初期治療を行って状態を安定させたのち、専門医に治療、手術をゆだねます。また、容態が不安定な患者さんには、救命救急センターの麻酔集中治療医が、集中治療室（ICU）で全身の管理を行います。このような重症な患者さんの入院は年間700人くらいです。

一方、突然の病気やケガに襲われた患者さんご家族にとって、ご自分の病気、ケガが命にかかわるものであるかどうかを判断するのは大変難しいことです。軽症だと思って救急外来に歩いてこられたのに、すぐに手術をしなければならない重い病気であったということも珍しくありません。救命救急センターでは一目でわかる重症な患者さんだけでなく、幅広く救急患者さんに対応するER方式をとっております。

また市内で急に意識がなくなったり、突然胸が痛みだし、冷や汗をかいていたり、重症な外傷が予想されるような患者さんには、当医療センターの同一区画内にある救急ステーションからドクターカーが出動します。ドクターカーには医師1名、救急救命士を含む救急隊員3名が乗車しており、患者さんに現場で救命処置を行ってから病院に運びます。ドクターカーと救急隊の共同作業で15年間に100人を超える心停止の患者さんが救命され、社会復帰しています。心停止のほかにもドクターカーは心筋梗塞、くも膜下出血、喘息や交通事故などに対して、現場でいち早く治療を開始して患者さんの救命に威力を発揮しています。

全国的に医師不足による「医療崩壊」が進み、千葉県内でもいくつかの公立病院が休止や救急業務の停止に追い込まれています。しかし、当医療センターでは「救急医療は都市のライフライン」であるとの認識のもと、救急医療の更なる充実に向けて努力してまいります。

救急医療 Q & A

求められる多様性への対応

Q1：救急医療の特色は何ですか？

多様性こそが救急の一番の特性です。1つは疾患で、風邪をひいた方から心臓が止まった患者さんまでいろいろな患者さんが来ます。また、重症度や発生時間、発生場所も様々です。これらの多様性こそが救急の特徴といえます。救急医は多様性に対応しなければならないので、広い技術と知識が必要となります。

Q2：救命救急センターには多くの救急車が来ていますね。

船橋市をはじめ、習志野市、鎌ヶ谷市、八千代市、市川市、白井市などいろいろな市から1日10台前後の救急車が来ています。

Q3：どのような疾患が多いのですか？

入院患者を見ると、第1に消化器疾患、第2に脳疾患、第3に心疾患、第4に呼吸器疾患と外傷の患者さんが多く、特に脳疾患、心疾患、外傷に重症な患者さんが多くなっています。



救急医と専門医が連携して治療にあたります

救急医と各診療科の専門医、麻酔科医など院内の連携が重要

Q4：医療センターでは、救急車で搬送される患者さんにどのように対応しているのですか？

救急隊員が重症であると判断した場合は、救命救急センターの救急医に連絡が入りますので、病床の空き状況などを確認した上で受け入れています。医師が電話で疾患や重症度を把握し、看護師や事務員に伝え、受け入れの準備をします。

当医療センターでは、救急医だけで診療する場合もあれば、各診療科の専門医と連携して治療する場合もあります。救急医が初期治療や診断、振り分けを行い、必要に応じて各診療科の専門医が手術やカテーテルなどを実施し、手術後は麻酔科医が全身管理をします。当医療センターの入院患者の約40%が救急外来を通過していることからわかるように、当医療センターは病院全体で救急医療に取り組んでいる病院です。救命救急センターの救急医と各診療科の専門医、そして麻酔科医の連携がとれているからこそ、多くの救急患者さんを受け入れることができるのです。

走るER！ドクターカー

Q5：ドクターカーとはどのようなものですか。

自宅や職場で、心臓が痛くなり、倒れてしまう患者さんがいます。このような場合、救急隊が病院に搬送してくるのを待つのではなく、医師が現場に出向き救命処置をするのがドクターカーのシステムです。重症な患者さんをそこで治療し、救命救急センターに連れてきます。救急医は初期診断をして振り分けるといった大事な業務をするとともに、そこで初期治療をしなければ助からない多くの患者さんの対応もしています。

ペットタウンである船橋市は、昼と夜の人口におよそ12万人の差があるので、ドクターカーは夜間の出勤が多くなります。

ドクターカーには、船橋市医師会員の先生方と当医療センターの医師が交替で乗車し、20年1月から12月では、年間1899回出勤しています。そのうち、194件が、心肺停止状態で搬送された後、151件が心拍再開となりました。



重症な患者さんが最優先。トリアージ後状況によっては、お待たせすることもあります。

Q6：救命救急センターに来院される急病の患者さんでも待たされることがあるのですか？

救命救急センターには救急車で来る方も救急外来に自家用車等で来る方もいます。医師又は看護師がまず状態をお聞きし、それを受けた医師が重症であると判断した場合には、他にお待ちの患者さんより優先して診察しております。そのため、やむを得ず患者さんをお待たせすることもあります。救命救急センターには多様な患者さんが来られますので、命にかかわる方を優先することをご理解ください。

船橋市では、休日や早朝、夕方の当番医療機関（病院、診療所）を電話案内でお知らせしています。

電話：047 - 435 - 2727

（案内時間 月曜～土曜日：午後3時～翌午前9時 日曜、祝休日、年末年始：24時間）

新型インフルエンザ流行中！：今すぐできる感染症予防

新型インフルエンザも季節性（通常の）インフルエンザも予防対策は、「手指衛生（手洗い）」と「咳エチケット」です。

感染症予防の第一は頻繁に手を洗うこと！

★「手指衛生（手洗い）」とは？

石鹸と流水で30秒～60秒かけてよく手を洗う事、または擦り込み式消毒用アルコール製剤を15秒以上かけて手に擦り込み、きれいに消毒する事をいいます。

★「咳エチケット」とは？

咳やくしゃみなどでウイルスは1.5m～2m程度飛び散り、他の人にうつっていきます。

咳やくしゃみが出る時は、病院や人混みではマスクをつけて下さい。

マスクがない時にはティッシュや袖で口を押さえて咳をしましょう。ティッシュはすぐにゴミ箱へ捨てましょう。

症状がある時は外出を控え、自宅で療養することが大切です。

インフルエンザの予防は他に栄養摂取、睡眠、うがい、予防接種です。

妊婦さんや糖尿病や喘息などの病気をお持ちの方は新型インフルエンザにかかると重症化しやすいことが分かっています。お近くの診療所で早めに予約してワクチンをできるだけ接種しましょう。

※当医療センターでは、インフルエンザ検査用簡易キットの入手が困難なため、検査ができないことをご了承ください。



高度 医療機器 の紹介

体の中を輪切りにしたような画像を作成する

MRI装置(1.5T)



当医療センターでは平成3年にMRI (MRT200FX II) 1.5T (テスラー)を導入しました。平成12年には、MRI (signaMR/i) 1.5Tに機器更新しました。平成19年12月には、予約待ちを緩和するためMRI (signaHDx)を増設しました。その際既存の装置も、ほぼ同性能にバージョンアップし、現在は2台体制で検査を行っています。



MRI検査の特徴としては、組織コントラストが高く他のX線CTや超音波画像等では得られない画像が得られるということ、任意の断面で撮像ができること、X線被ばくがないということなどが挙げられます。ただし、検査内容により異なりますが、検査時間が15分～1時間程度と長く、数ミリ単位の画像を撮像しているため、患者さんは動くことが出来ません。また、装置が巨大な磁石で出来ているため検査室内に金属を持ち込むことはできず、ペースメーカーや除細動器の植込み手術をされている患者さんは検査が出来ないなど制約があります。

MRI検査には、T1強調画像、T2強調画像を始めとして、Flow(血流)を強調したMRA画像、水成分を強調したMRCPなどのhydrograph、超急性期の脳梗塞などが判別できる拡散強調画像、心臓などの動きをみるシネ画像など様々な撮像方法があり、検査内容に応じた幅広い撮像を行うことが可能となっています。

検査の中心は脳神経領域や整形領域の画像診断ですが、昨今の技術の発展により装置の性能が向上し、腹部や心臓などの動きを伴った領域にも高画質の画像が得られるようになってきました。その結果、消化器や循環器領域への分野にも普及しつつあります。

MRI(磁気共鳴断層撮影装置)

体にラジオ波を当て画像を撮像する装置です。体内にある水素原子核がラジオ波に共鳴して微弱な電波を発生します。MRIはその電波を受信し、コンピューター処理することで、体の中を輪切りにしたような画像をはじめ、いろいろな断面での鮮明な画像を作成します。



診療科紹介

循環器内科



部長 稲垣 雅行

循環器内科の対象疾患は高血圧、狭心症、心筋梗塞が多く、不整脈、心不全、動脈疾患などが続きます。胸痛、動悸、失神、呼吸困難が主な症状です。24時間体制で心臓カテーテル検査を行い救急診療にあたっています。経皮的冠動脈形成術、ペースメーカーや除細動器の植込み術、カテーテル心筋症灼術（アブレーション）、心不全に対する両室ペーシング治療を心臓血管外科と緊密に連携して行っております。再発の予防も大切で、高血圧、高脂血症などの危険因子是正の他、心臓リハビリテーションにも力を入れています。

医療センターのホームページが新しく生まれ変わりました！！

インターネットの普及は目覚ましく、症状があるとき、自分・家族・知人などが病気になったとき、その正誤は別としてすぐに情報が入ってきます。また、ホームページでその施設の雰囲気、業務、職員そして志を垣間見ることができ、施設の看板となりつつあります。病院のホームページは、最低限の情報の文字の羅列では不十分で、患者さんやその家族、知人、市民、県民、国民を対象とし、老若男女問わず見やすくなくてはなりません。

このたび10月から、当医療センターのホームページが完全リニューアルしました。どうぞ御覧ください。



ホームページアドレス

⇒ <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>

船橋市立医療センター

検索

看護部だより

看護ケアの質の向上を目指すスペシャリスト達

看護部のスペシャリストの活躍について御紹介します。

当医療センターには認定看護師、がん相談支援センター看護師、リエゾン精神看護師*など特定の看護分野のスペシャリストがいます。

高度・専門分化する医療の中で看護の役割も拡大し、質の高い看護ケアが求められています。

スペシャリスト達は看護現場での看護ケアの質向上の為に活動を行い、さらに院内・院外で各自の専門的知識・技術を発揮して活躍しています。

*医療スタッフと共に、からだの病気・けがによって生じた不安・抑うつなどのこころの症状を予防・早期介入する役割を果たします



認定看護師について

認定看護師は日本看護協会が認定教育機関で、専門的教育・研修を受けた看護職への資格認定を行っており、現在19分野があります。当医療センターには3分野（感染管理、皮膚・排泄ケア、救急看護）、4名の認定看護師が活躍しています。

活動の一例：感染管理認定看護師は新型インフルエンザ対策のために感染症外来の診察手順整備、院内・院外勉強会の実施、予防ポスター作成などを院内各部署担当者と協力して行っています。



曾根京子救急看護認定看護師の声

「私は2001年に資格を取得し救命救急センターに所属しています。突然病気になったり、負傷した患者さんとご家族は精神的ケアを含め最善の医療を必要としています。救急看護認定看護師として、他の看護師の模範になれるよう幅広い知識・高度な専門的技術の修得に努めています。また当医療センターのDMAT（災害派遣医療チーム）の一員でもあります。」

地域医療連携室だより

がんに関する情報の集め方

地域医療連携室には、医療連携福祉センターとがん相談支援センターがあります。

病気になると、色々な悩みや不安、疑問などが出てくると思います。

今回は、がん相談支援センターからがんに関する情報の集め方をご紹介します。

=情報を知ると、こんなことが・・・=

- ・患者さんの意思決定の手助けになります
- ・不安を解消したり、軽くすることができます
- ・積極的に治療に参加する助けになります

=こんな情報があります=

★インターネットからの情報
多くの情報が簡単に手に入りますが、信頼のおける情報かどうか、慎重に選択する必要があります。
下記の機関で市民向けの情報発信もしています。

国立がんセンター
がん対策情報センター「がん情報サービス」
<http://ganjoho.ncc.go.jp/>

市民向けには、「各種がんの解説」「予防と検診」「診断・治療方法」「がんとつきあう」などの情報がのっています。

★がん相談支援センター（地域医療連携室内）
専任の看護師、ソーシャルワーカーが、一緒に情報を探したり、情報整理のお手伝いをします。また、相談することによって、問題整理のお手伝いになるかもしれません。

がんに関するパンフレットを正面玄関横に置いてありますので、ご利用ください。

がん相談支援センターでは、当医療センターの患者さん、ご家族に限らず、どなたでも無料で相談をお受けしております。

予約していただければお待たせすることはありません。お気軽にご相談ください。



問い合わせ

地域医療連携室 E館1階

電話：047-438-3321（代）

受付時間：午前9時～午後4時

（土日・祝日・年末年始【12/29～1/3】を除く）

医療安全ニュース



入院中の転倒・転落防止のために

| 原因 | こんな点に気をつけましょう |
|---|---|
| 衣類・履物  | 履きなれた履物、ひきずらない裾丈のものを用意しましょう |
| ベッドのまわり | 移動する時は不安定なものを支えにしないようにしましょう |
| 夜間・暗がりの中での動作 | 必要な時は枕灯を点灯。暗がりでは動かず、目が慣れてから行動しましょう |
| 筋力の低下（運動不足） | 入院によって筋力が低下し、足元がふらつく方は看護師が介助しますので、ナースコールをしてください |
| 遠慮 など | 遠慮せずにナースコールをしてください |

当医療センターでは、「転倒・転落アセスメントシート」を活用し、転倒・転落防止に努めています。また、既存棟改修により段差の解消などのバリアフリー化を進めています。



皆さんからよく寄せられる質問に対してこのコーナーで、お答えしていきます。

Q1. 初めて医療センターで受診したいのですが、どのような手続きをとればいいですか。

A1. 1階の受付窓口の「①新患受付」にお越しください。院内にある「診療申込書（新患）」に必要事項をご記入の上、健康保険証を添えて提出してください。他の病院や診療所から紹介を受けた方は、紹介状もお持ちください。

Q2. 以前医療センターで受診したことがあるのですが、今回受診するときはどうすればいいですか。

A2. 再来での受付となりますので、受付窓口の「③再来受付」に設置してあります番号カード発行機から番号カードをお取りになり、「診療申込書（再来）」に必要事項をご記入ください。番号をお呼びしますので、「診療申込書（再来）」に保険証・診察券と紹介状（他の医療機関から紹介された場合）を添えて、③再来受付にご提出ください。
※ 新患・再来ともに受付時間は、平日の午前8時30分～午前11時です。

ただし、救急の場合は、毎日24時間受け付けております。

医事課

お知らせ

院内コンサート

平成21年1月から定期的に院内コンサートが開催されています。患者さん、ご家族、職員、誰もが音楽で心を癒されるひと時を提供するために企画しています。無料です。

時間：午後5時20分
～午後5時50分
場所：外来待合



<年内の予定>

オータムコンサート

10月22日（木） 7月7日に開催された院内コンサート
演奏：木管五重奏「アンサンブル・アクア」

クリスマスコンサート

12月17日（木）
演奏：木管五重奏「アンサンブル・アクア」

院内コンサート実行責任者 宇田川 雅彦

看護師さんを募集しています

- 資格／正看護師免許をお持ちの方
- 募集／看護師（正規・臨時職員）若干名
- 休日／週休2日制
（臨時職員の場合は、勤務日数の相談に応じます。）

詳細は当医療センターホームページをご覧くださいか、下記までお問い合わせください。

☎047-438-3321（代） 総務課庶務班

お薬のはなし

「薬によって生じた治療の目的に沿わない作用の全て」を副作用といいます。薬と毒は諸刃の剣と云われるように全ての薬には副作用があります。ただしお薬を飲む前に、いくつか心構えをしておくことで副作用を最小限に抑えることができます。一つ目は、飲み方をきちんと守ること。自分で勝手に調節したり、もう治ったからといって勝手に飲むのをやめたりしないで下さい。二つ目は、アレルギーがあったら必ず医師、薬剤師、看護師に伝えること。体に合わないお薬を服用するととても重い副作用になる危険があります。必ず伝えてください。三つ目は、現在飲んでいるお薬を医師に伝えること。薬の飲み合わせや薬の重複を防ぎます。最後に、飲む前に「おくすりの説明書」を読むこと。薬の副作用は必ず起きるものではありませんが、薬局などでお渡しされる「おくすりの説明書」に書かれています。ご自身で薬の内容を理解して安全に正しく服用しましょう。



薬剤部 大竹 満博

編集後記

9月9日は救急の日でしたので、今回は当医療センターが提供する救急医療について特集しました。これからも皆さんに情報発信をしていきたいと思っております。

広報委員長 三村 雅也

表紙写真：ふなばしアンデルセン公園にて

外来担当医師一覧表

平成21年10月1日現在

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備考 | |
|------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--|---|----------------------------------|-------------------------------|
| 内科 | 新患 | 水品 百恵 | 前川 祐子 | 岩岡 秀明 | 小澤 俊 | 植山 太郎 | ※(休)の渡辺・水本、 (金)の安藤は予約患者のみ。 |
| | 呼吸器 | 中村祐之・上岡英子 | 徳田 敦子 | 多部田弘士 | 中村 祐之 | 多部田弘士 | |
| | 消化器 | 小山田新・〔交替医〕 | 水本 英明 | 安藤 健 | 水本英明・渡辺悠人 | 小林照宗・安藤健 | |
| | 代謝 | | 岩岡 秀明 立花里依子 水品 百恵 | 鶴岡 明 | 立花里依子 | 岩岡 秀明 立花里依子 水品 百恵 | |
| 循環器内科 | 杉岡 充爾 稲垣 雅行 | 福澤 茂 沖野 晋一 | 前川 潤平 稲垣 雅行 | 杉岡 充爾 市川壮一郎 | 福澤 茂 池田 篤史 | | |
| 緩和ケア内科 | 野本 靖史 | | | | | 午後 予約患者のみ | |
| 精神科 | 宇田川雅彦 岡戸 民雄 | 宇田川雅彦 岡戸 民雄 | 宇田川雅彦 岡戸 民雄 | 宇田川雅彦 岡戸 民雄 | 宇田川雅彦 岡戸 民雄 | 新患は事前予約が必要 | |
| 小児科 | 中村 公則 木谷 豊 | 佐藤 純一 伊賀 裕子 | 丹羽 淳子 齋藤 直樹 | 木谷 豊 松尾 薫 | 伊賀 裕子 坂井 美穂 | | |
| 外科 | 丸山 尚嗣 唐司 則之 小林 豊 | 渡辺 義二 佐藤やよい 〔手術日〕 | 唐司 則之 丸山 尚嗣 〔手術日〕 | 成島 一夫 齋藤 武 (小児外科) 〔手術日〕 | 渡辺 義二 羽成 直行 | | |
| 整形外科 | 〔交替医〕 〔手術日〕 | 池之上純男 高瀬 完 〔交替医〕 | 三村 雅也 鮫田 寛明 新保 純 | 〔交替医〕 〔手術日〕 | 〔交替医〕 〔手術日〕 | 予約のない患者は (月)・(木)・(金) | |
| 形成外科 | 〔手術日〕 | 薬丸 洋秋 | 薬丸 洋秋 | 〔手術日〕 | 呉屋 圭一 | | |
| 脳神経外科 | 唐澤 秀治 金 弘 山本 邦厚 | 三ツ橋茂雄 唐澤 秀治 〔手術日〕 | 畑山 和己 金 弘 根本 文夫 | 唐澤 秀治 金 弘 (10/29まで) 安間芳秀 (11/5から) 〔手術日〕 | 内藤 博道 唐澤秀治 (11/6から) 金 弘 (10/30まで) | | |
| 呼吸器外科 | 木下 孔明 | 〔手術日〕 | 中嶋英治 (11/4から) | 木下 孔明 | 〔手術日〕 | | |
| 心臓血管外科 | 〔手術日〕 | 高原善治・茂木健司 | 〔手術日〕 | | 〔手術日〕 | 午後1時30分から ※第1・3・5 高原 ※第2・4 茂木 | |
| 皮膚科 | 清水 聖子 黒田 啓 | 清水 聖子 黒田 啓 | 〔交替医〕 | 清水 聖子 黒田 啓 | 清水 聖子 黒田 啓 | 予約のない患者は (月)・(火)・(木) | |
| 泌尿器科 | 武田 英男 〔手術日〕 | 佐藤 信夫 陳 憲生 | 〔交替医〕 〔手術日〕 | 佐藤 信夫 陳 憲生 | 佐藤 信夫 〔手術日〕 | | |
| 産婦人科 | 鈴木 康伸 齋藤 俊雄 | 森竹 哲也 吉原ちさと 〔手術日〕 | 齋藤 俊雄 佐川 泰一 〔手術日〕 | 鈴木 康伸 林 敏 | 林 敏 大淵 紫 〔手術日〕 | | |
| 眼科 | 上原 七生 谷口 有子 〔手術日〕 | 上原 七生 松枝 美文 〔手術日〕 | 上原 七生 齋藤 守 | 松枝 美文 齋藤 守 | 上原 七生 齋藤 守 | | |
| 耳鼻いんこう科 | 〔交替医〕 〔手術日〕 | 國井 直樹 大塚雄一郎 | 國井 直樹 大塚雄一郎 | 國井 直樹 大塚雄一郎 〔手術日〕 | 國井 直樹 大塚雄一郎 〔手術日〕 | | |
| 放射線科 | 青木 裕 | | | 原 竜介 | 黒崎 弘正 | 新患は事前予約が必要 | |
| 麻酔科 | | 〔交替医〕 | 〔交替医〕 | 〔交替医〕 | | 午後 | |
| 特殊外来 | 女性専用(内科) | 大淵 紫 | | 古池 織恵 | | | |
| | 腎臓内科(内科) | | 〔交替医〕 | | | 午後1:30～ 予約患者のみ | |
| | 神経内科(内科) | | | 澤井 摂 | | 午後1:00～ 予約患者のみ | |
| | 小児循環器(小児) | 佐藤純一・〔交替医〕 | 松本 歩美 | 佐藤 純一 | | 午後 予約患者のみ | |
| | 小児神経(小児) | | | | 林北見・牧野道子 | 午後 予約患者のみ | |
| | 小児腎臓(小児) | | | | 秋岡 祐子 | 午後 予約患者のみ | |
| | 乳腺外来(外科) | | | | | 唐司則之・吉原ちさと | |
| | 小児外科(外科) | | | | 齋藤 武 | | |
| | 脳神経内科(脳神経外科) | | | 横田隆徳 (月1回) | | 久保寺隆行 | 午後1:30～ 予約患者のみ |
| | 脳神経外科(脳神経外科) | | 唐澤 秀治 | | 唐澤 秀治 | | |
| 膀胱外来(泌尿器科) | | | | 北村 温 | | 第3木曜日の午後 | |

担当医師は状況により変更することがありますのでご了承ください。